

ジャランジャラン：インドネシア語で、散歩する、という意味。

# ジャランジャラン

## 霞が関 on line

### その3 環境省編

（一社）公共建築協会公共建築研究所総括主席研究員 しらかわ かずし 白川 和司



今月は、環境省をジャランジャランしてみました。

最初に目に飛び込んできたのは、**東日本大震災**への対応、**放射性物質対策**でした。今、日本で、最も大きな問題のひとつだと、誰もが思うのではないのでしょうか。そうした問題に、真っ向からとりこんでいる省であることがわかります。**東日本大震災**への対応の中では、**災害廃棄物対策**という言葉が出てきます。地震・津波によって、一度に、大量の**廃棄物**が発生したのですから、環境省や地方自治体の実施すべき**廃棄物処理**に関する業務が一度にふくらみ、しかも、その対応のために、**法整備**も行いながら、ということですから、さぞかし大変であったろう、と推察する次第です。津波や地震で壊れた建築物もこの中に入ってくると思いますが、建築物は、さまざまな材料を組み合わせたものであったり、さらには、さまざまな用途の建築物の中に、家具とか、機器、さらには、PCBのような保管義務をおったものなどが、あったりもします。さらに、**資源有効利用促進法**によって、**再資源化**を図っていく**パソコン**など、法令にのっとってすみやかに処理すべきものがあつたりします。また、**廃棄物**となった後の危険につながる**保管していたPCBの流出による汚染**など、ひとくくりに**廃棄物**といっても、それぞれの個別の対応が必要となつたり、さらには、他省庁との調整が必要になるなど、これもまた、大変なことであつたらうと推察します。特に、**アスベスト**については、古い建物の建材に含まれている場合もあり、**具体的にどういったところに**

**使われているのか**紹介され、その処理についても、**マニュアル**が用意するといった対応がされています。一度、飛散してしまうと、なかなか、回収が困難で、健康被害をもたらすものですから、環境省のページで紹介されているように、的確な対応を促すための**情報提供**が重要なことだと思いました。

また、建築の世界では、地球環境問題への取り組み、特に、**温室効果ガス**排出量削減、省エネルギー化が重要な課題となっています。環境省のホームページの中で、**温室効果ガス排出量の確定値**が出ていますので見てみますと、**事務所等**が含まれる業務その他部門が、基準年度比で65.8%増と、他の分野と比較して、大きな伸びを示していることがわかります。こうした実態を踏まえますと、さらなる**努力**が必至、という状況でしょう。わが国の2020年度に向けての**目標**も設定されていて、**2020年度に、2005年度比でマイナス3.8%**とされておりました。

さらに、**環境アセスメント**のページもありました。ここで、便利に感じましたのは、**環境影響評価支援情報ネットワーク**が構築されていて、**環境アセスメント**が行われた事例とか、**現在進行形のもの**が把握できるようになっています。こうした業務に携わる方には、**大変便利な参照ツール**でしょう。

それから、環境省といえば、**自然環境・生物多様性**にかかる政策も、非常に**関心の高い話題**です。ページをみますと、**自然環境の保全**、**海洋の生物多様性・サンゴ礁の保全**、**国際的な森林・砂漠化対策**、**南極地域の**

**環境保護**、**ラムサール条約**による**湿地・水鳥の保全**、**生物多様性の保全**、**自然とのふれあい**、**野生生物・飼養動物の保護管理**、**希少野生生物の保護**等、**テレビ**でよく紹介される世界の**自然の風景**に通じるような**事項**が並んでいます。

私にとりまして、中でも興味深いのは、**サンゴ礁の保全**です。以前、インドネシアのマナドというところに住んでおりましたとき、**ブナケン島**に、よく**シュノーケリング**に出かけました。スキューバダイビングでなくても、海に広がる**サンゴ礁**が見えていました。ところが、マナドに**すみ始めて**、**1年半ほど**すぎたころに、以前行ったことがある場所で**シュノーケリング**をしてみると、以前に広がっていた**サンゴ**が死んでいました。非常に驚くと同時に**残念な気持ち**になりましたが、そうした問題に直面する中で、**サンゴ礁の保全**に取り組んでおられる**環境省**には**がんばってほしい**、と思ったところです。

また、**自然大好きクラブ**なるページもございまして、**様々な自然とのふれあいイベント**が企画されています。**レンジャーの方々**が**ガイド**をされているようで、**自然のプロ**と一緒に**散策**するので、**一味違った自然とのふれあい**が**楽しめる**のではないかと、思います。

とにかく、私も参加したい!! できるかなあ・・・



ブナケン島（インドネシア）のサンゴ

注1) ここでの考え方等につきましては、筆者個人によるもので、公共建築協会とは、関係ありません。

注2) 下線部分にリンクを貼ったPDFを、当協会ウェブサイト上で公開しています。